

モニタリングレポート(平成28年度)

施設名	ベルホーム				
施設所在地	鈴鹿市江島町3447番地の5				
指定管理者名	社会福祉法人鈴鹿市社会福祉協議会				
評価担当課	障がい福祉課	問合せ先	059-382-7626		
施設の運営状況	(確認方法)月次報告, 年度事業報告書				
生活介護利用登録者 (年度末)	50人	延べ利用者数	8,279人	平均利用者数	32人
日中一時利用登録者 (年度末)	5人	延べ利用者数	101人		
事業収支	(確認方法)年度事業報告書				
項目	計画値(単位:円)	実績値(単位:円)	計画比(単位:円)		
指定管理料	30,529,000	30,529,000	0		
障害福祉サービス等事業収入	104,077,000	104,283,824	206,824		
その他	549,000	882,954	333,954		
事業活動収入計	135,155,000	135,695,778	540,778		
人件費(給与・法定福利費等)	83,766,000	83,748,633	▲ 17,367		
事業費	5,453,000	6,055,811	602,811		
諸謝金	125,000	125,000	0		
保健衛生費	37,000	35,420	▲ 1,580		
教養娯楽費	212,000	230,903	18,903		
消耗器具備品費	2,807,000	3,131,531	324,531		
保険料支出	0	277,990	277,990		
車両費	2,272,000	2,253,197	▲ 18,803		
雑支出	0	1,770	1,770		
事務費	18,523,000	18,453,032	▲ 69,968		
福利厚生費・旅費・研修費	678,000	1,275,508	597,508		
事務消耗品費・印刷製本費	349,000	375,800	26,800		
水道光熱費	2,599,000	2,777,630	178,630		
修繕費	290,000	285,690	▲ 4,310		
通信運搬費	359,000	352,984	▲ 6,016		
業務委託費	10,107,000	9,734,226	▲ 372,774		
手数料	40,000	42,416	2,416		
保険料	898,000	493,608	▲ 404,392		
賃借料	2,093,000	2,011,530	▲ 81,470		
租税公課	9,000	4,200	▲ 4,800		
保守料	1,083,000	1,082,160	▲ 840		
負担金	17,000	16,515	▲ 485		
事業活動支出計	107,759,000	108,273,991	514,991		
事業活動収支	27,396,000	27,421,787	25,787		
施設整備等による収支	▲ 1,740,000	▲ 1,473,568	266,432		
その他の活動による収支	▲ 8,621,000	▲ 8,544,183	76,817		
当期資金収支	17,035,000	17,404,036	369,036		

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価)	月次報告書	○	適切に履行されている
	現地調査	○	適切に履行されている
	定例報告会	○	適切に履行されている
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価)	アンケート	優良	要望はあるが、利用者は満足している
	現地調査	優良	利用者への支援内容は適切である
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価)	貸借対照表 (拠点区分)	○	純資産がプラスである。
	年度事業報告書 (収支計算書)	○	当期資金収支差額合計、当期末支払資金残高ともにプラスである。
	年度事業報告書 (財産目録)	○	資産が負債を上回っている。(差引純資産がプラス)
年度業務報告書の内容評価			○ 適 ・ 不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力いずれの点においても優秀な内容である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			○ 適 ・ 不適
月1回の定例報告について、軽易な案件の場合、市職員(ケースワーカー)訪問時に報告を行うこともある。また、課題等については、内容等により随時、協議を行っている。			
緊急時の対応評価			○ 適 ・ 不適
重大な事故の発生はなく、業務内容から発生する事故(怪我など)への対応は適切におこなわれ、必要な報告は月次報告でされている。			
指定管理者の総括評価			○ 適 ・ 不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はなく、緊急時の対応も適切に行われている。利用者からの信頼も厚く、安定したサービスの提供が期待できる団体である。			
施設の課題と対策			
利用者には重度の障がいのある方が多く、体調等から休まれる方も多いため、平均利用者数が伸び悩んでいる。登録者と利用人数の実績などの把握により平均利用者の増加を図っているが、継続して取り組む必要がある。			
施設の方向性			
利用者からは安定した施設の運営が求められており、施設の継続は必須である。今後については、安定した運営を行いながら、効率的な運営を検討する。また、指定管理以外での運営方法についても検討を行う。			